



医療計画の数値目標について

1. 第7次計画における数値目標
達成状況について

2. 第8次計画の数値目標等
に向けたロジックモデルの活用
について



第7次計画における数値目標の達成状況（がん）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標		策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
がん	がんによる年齢調整死亡率 (75歳未満)		69.0 (▲9.3%) 【H28】	64.3 (▲8.1%) 【R元】	61.2 (▲9.2%) 【R3】	全国平均よりも ▲10%以上	B
	がん検診受診率	胃がん	9.8%	26.5%	15.5%	50%以上	B
		肺がん	23.0%	22.1%	18.8%		D
		大腸がん	30.0%	25.1%	21.8%		D
		子宮頸がん	54.2%	43.4%	41.3%		D
		乳がん	37.8% 【H28】	40.0% 【H30】	36.5% 【R3】		D
	がん検診後の 精密検査受診率	胃がん	69.2%	72.2% ※エックス線 (40歳～74歳)	71.9% ※エックス線 (40歳～74歳)	90%以上	B
				84.1% ※内視鏡 (50歳～74歳)	94.7% ※内視鏡 (50歳～74歳)		
		肺がん	65.3%	74.2%	86.4%		B
		大腸がん	62.4%	64.7%	63.7%		B
子宮頸がん		63.1%	70.3%	77.9%	B		
乳がん	79.7% 【H27】	72.2% 【H29】	75.8% 【R2】	D			

第7次計画における数値目標の達成状況（脳卒中）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標		策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
脳卒中	脳血管疾患による 年齢調整死亡率	男性	34.7 【H28】	35.1 【R 元】	30.7 【R 3】	29.0以下	B
		女性	19.8 【H28】	18.4 【R 元】	17.3 【R 3】	16.0以下	B
	特定健康診査受診率		53.0% 【H27】	56.3% 【H30】	59.3% 【R 3】	70%以上	B
	特定保健指導実施率		17.5% 【H27】	20.6% 【H30】	23.7% 【R 3】	45%以上	B
	受入困難事例 の割合	現場滞在時間30分以上	3.8% 【H28】	2.8% 【R 元】	4.1% 【R3】	3.3%以下	D
		医療機関への要請回数 4回以上	2.3% 【H28】	1.1% 【R 元】	1.5% 【R3】	2.0%以下	A
	脳梗塞に対する t-P A による脳血栓 溶解療法を24時間実施可能とする		7 圏域 【H29】	7 圏域 【R2】	7 圏域 【R 4】	8 圏域	C
	他の医療機関等と連携のための協議 を行う病院数		延べ53施設 【H29】	延べ74 施設 【R2】	延べ79施設 【R 4】	延べ69施設	A

第7次計画における数値目標の達成状況（心血管疾患）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標		策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
心筋梗塞等の心血管疾患対策	急性心筋梗塞による年齢調整死亡率	男性	20.6 【H28】	14.5 【R元】	15.3 【R3】	15.5以下	A
		女性	7.6 【H28】	5.2 【R元】	5.3 【R3】	5.7以下	A
	特定健康診査受診率		53.0% 【H27】	56.3% 【H30】	59.3% 【R3】	70%以上	B
	特定保健指導実施率		17.5% 【H27】	20.6% 【H30】	23.7% 【R3】	45%以上	B
	受入困難事例の割合	現場滞在時間30分以上	3.8% 【H28】	2.8% 【R元】	4.1% 【R3】	3.3%以下	D
		医療機関への要請回数4回以上	2.3% 【H28】	1.1% 【R元】	1.5% 【R3】	2.0%以下	A
	心血管疾患リハビリテーションの実施病院における心臓リハビリテーション指導士の配置率		56.3% 【H29】	63.2% 【R2】	68.4% 【R4】	100%	B

第7次計画における数値目標の達成状況（糖尿病）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標		策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況	
糖尿病	特定健康診査受診率		53.0%【H27】	56.3%【H30】	59.3%【R3】	70%以上	B	
	特定保健指導実施率		17.5%【H27】	20.6%【H30】	23.7%【R3】	45%以上	B	
	糖尿病の可能性を否定できない人（HbA1c（NGSP値）6.0%以上6.5%未満）の割合	40～49歳	男性	4.3%【H28】	5.0%【R元】	4.7%【R3】	3.9%以下	D
			女性	2.0%【H28】	2.5%【R元】	2.7%【R3】	1.8%以下	D
		50～59歳	男性	8.2%【H28】	8.2%【R元】	9.7%【R3】	7.4%以下	D
			女性	6.3%【H28】	6.9%【R元】	6.6%【R3】	5.7%以下	D
		60～69歳	男性	13.8%【H28】	13.2%【R元】	13.8%【R3】	12.4%以下	C
			女性	12.1%【H28】	11.6%【R元】	12.0%【R3】	10.9%以下	B
	糖尿病が強く疑われる人（HbA1c（NGSP値）6.5%以上）の割合	40～49歳	男性	5.2%【H28】	4.3%【R元】	4.8%【R3】	現状値より減少	A
			女性	1.4%【H28】	1.8%【R元】	1.5%【R3】		D
		50～59歳	男性	10.7%【H28】	9.0%【R元】	9.7%【R3】		A
			女性	3.9%【H28】	3.8%【R元】	4.0%【R3】		D
		60～69歳	男性	12.6%【H28】	12.3%【R元】	13.5%【R3】		D
			女性	6.8%【H28】	6.2%【R元】	6.6%【R3】		A
	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数		206人 (人口10万人あたり11.1人)【H27】	210人 (人口10万人あたり11.4人)【H30】	159人 (人口10万人あたり8.8人)【R3】	新規導入数の低減	A	

第7次計画における数値目標の達成状況（精神疾患）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標		策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
精神疾患	入院後3か月、6か月、1年時点での退院率	3か月時点	58.9% 【H28】	70.4% 【R元】	76.3% 【R4】	69.0%	A
		6か月時点	81.9% 【H28】	80.6% 【R元】	84.2% 【R4】	86.0%	B
		1年時点	87.6% 【H28】	84.3% 【R元】	88.9% 【R4】	92.0%	B
	退院後1年以内の地域における平均生活日数		278日 【H28】 (318日)			316日	
	精神病床における慢性期入院患者数	65歳以上	1,526人 【H28】	1,527人 【R元】	1,431人 【R4】	1,001人	B
		65歳未満	1,221人 【H28】	1,104人 【R元】	1,057人 【R4】	832人	B
	各障害保健福祉圏域および各市町における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場設置数	障害保健福祉圏域	0圏域 【H28】	9圏域 【R元】	9圏域 【R4】	9圏域	A
		市町	0市町 【H28】	29市町 【R元】	29市町 (共同設置含む) 【R4】	29市町 (共同設置含む)	A

第7次計画における数値目標の達成状況（救急・災害・へき地医療）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標	策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況	
救急医療	救急医療情報システム参加医療機関数	654 【H28】	695 機関 【R2】	744 【R4】	747以上	B	
	受入困難事例の割合	現場滞在時間30分以上	3.8% 【H28】	2.8% 【R 元】	4.1% 【R3】	3.3%以下	D
		医療機関への要請回数 4回以上	2.3% 【H28】	1.1% 【R 元】	1.5% 【R3】	2.0%以下	A
	救急搬送患者のうち、傷病程度が軽症であった人の割合	54.1% 【H28】	54.0% 【R 元】	51.2% 【R3】	50.0%以下	B	
	救急救命士が同乗している救急車の割合	96.6% 【H28】	97.2% 【R 元】	97.2% 【R3】	100%	B	
	地域で行われている多職種連携会議の開催回数	-	8回 【R2】	17回 【R4】	38回	B	
災害医療	病院の耐震化率	71.1% (69/97) 【H29】	79.6% (74/93) 【R2】	79.6% (74/93) 【R4】	100% (97/97)	B	
	病院および有床診療所のE M I S参加割合	53.5% (100/187) 【H29】	63.4% (109/172) 【R2】	79.8% (127/159) 【R4】	100% (187/187)	B	
	B C Pの考え方に基づいた災害医療マニュアルの策定と訓練を実施する病院の割合	7.2% (7/97) 【H29】	62.4% (58/93) 【R2】	67.7% (63/93) 【R4】	100% (97/97)	B	
へき地医療	へき地診療所等からの代診医派遣依頼応需率	100% 【H28】	100% 【R 元】	100% 【R4】	100%	A	
	へき地診療所に勤務する常勤医師数	16人 【H29】	17人 【R2】	17人 【R4】	17人	A	
	三重県地域医療研修センター研修医受入数（累計数）	259人 【H29】	302人 【R2】	352人 【R4】	469人	B	

第7次計画における数値目標の達成状況（周産期医療）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標	策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
周産期医療	妊産婦死亡率(出産10万人当たり) ()内は実数	7.3 (1人) 【H28】	0.0 (0人) 【R元】	8.9 (1人) 【R3】	0.0 (0人)	D
	周産期死亡率(出産千あたり) ()内は順位	5.6 (47位) 【H28】	2.0 (1位) 【R元】	2.8 (6位) 【R3】	2.1以下	B
	うち死産率 (22週以後・出産千あたり) ()内は順位	5.0 (47位) 【H28】	1.8 (1位) 【R元】	2.3 (5位) 【R3】	1.8以下	B
	うち早期新生児死亡率 (出生千あたり) ()内は順位	0.6 (16位) 【H28】	0.3 (2位) 【R元】	0.5 (13位) 【R3】	0.3以下	B
	産科・産婦人科医師数 (出産1万あたり) ()内は実数	121人 (163人) 【H28】	131.9人 (166人) 【H30】	152.6人 (170人) 【R2】	129人以上 (180人)	A
	病院勤務小児科医師数 (小児人口1万人あたり) ()内は実数	5.3人 (128人) 【H26】	6.1人 (138人) 【H29】	6.4人 (137人) 【R2】	6.6人以上 (159人)	B
	就業助産師数 (人口10万人あたり) ()内は実数	23.2人 (420人) 【H28】	24.8人 (445人) 【H30】	26.2人 (464人) 【R2】	28.2人以上 (510人)	B

第7次計画における数値目標の達成状況（小児医療）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標	策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
小児救急を含む小児医療	幼児死亡率（幼児人口千人あたり）	0.11 【H28】	0.15 【R元】	0.04 【R3】	0.08未満	A
	軽症乳幼児の救急搬送率 （乳幼児の急病による救急搬送のうち軽症患者の割合）	75.4% 【H28】	75.7% 【R元】	72.9% 【R3】	70.0%未満	B
	小児傷病者救急搬送時の現場滞在時間30分以上の件数 （ ）内は重症以上で搬送された件数	175件 (0件) 【H27】	97件 (0件) 【R元】	102件 (0件) 【R3】	90件以下 (0件)	B
	小児の訪問診療実施医療機関数	9施設 【H27】	9施設 【R2】	24施設 【R4】	20施設以上	A
	小児科医師数（人口10万人あたり） （ ）内は実数	11.5人 (208人) 【H28】	12.2人 (219人) 【H30】	13.1人 (232人) 【R2】	13.3人以上 (241人以上)	B

第7次計画における数値目標の達成状況（在宅医療）

A：達成 B：未達成（策定時より改善） C：未達成（策定時と変わらず） D：未達成（策定時より悪化）

疾病・事業等	数値目標	策定時	中間評価時	現状値	目標値	達成状況
在宅医療	訪問診療を実施する病院・診療所数	438施設 【H27】	406 施設 【H30】	403施設 【R3】	550施設	D
	訪問診療件数	7,519件／月 【H27】	9,088 件/月 【H30】	10,938件／月 【R3】	9,427件／月	A
	24時間体制の訪問看護ステーション従事者数のうち、看護師・准看護師数	344人 【H27】	497 人 【H29】	994人 【R2】 暫定値	538人	A
	訪問看護提供件数	86,085件／年 【H27】	106,125件／年 【H30】	141,004件／年 【R3】	117,591件／年	A
	在宅療養支援歯科診療所またはかかりつけ歯科医機能強化型診療所の届出をしている歯科診療所数	165施設 【H29】	196 施設 【R2.9】	215施設 【R5.7】	219施設	B
	居宅療養管理指導を算定している薬局数	272施設 【H28】	351 施設 【R 元】	408施設 【R4】	729施設	B
	退院時共同指導件数	387件／年 【H27】	862 件／年 【H30】	827件／年 【R3】	1,127件／年	B
	在宅看取りを実施している病院・診療所数	167施設 【H27】	159 施設 【H30】	176施設 【R3】	210施設	B

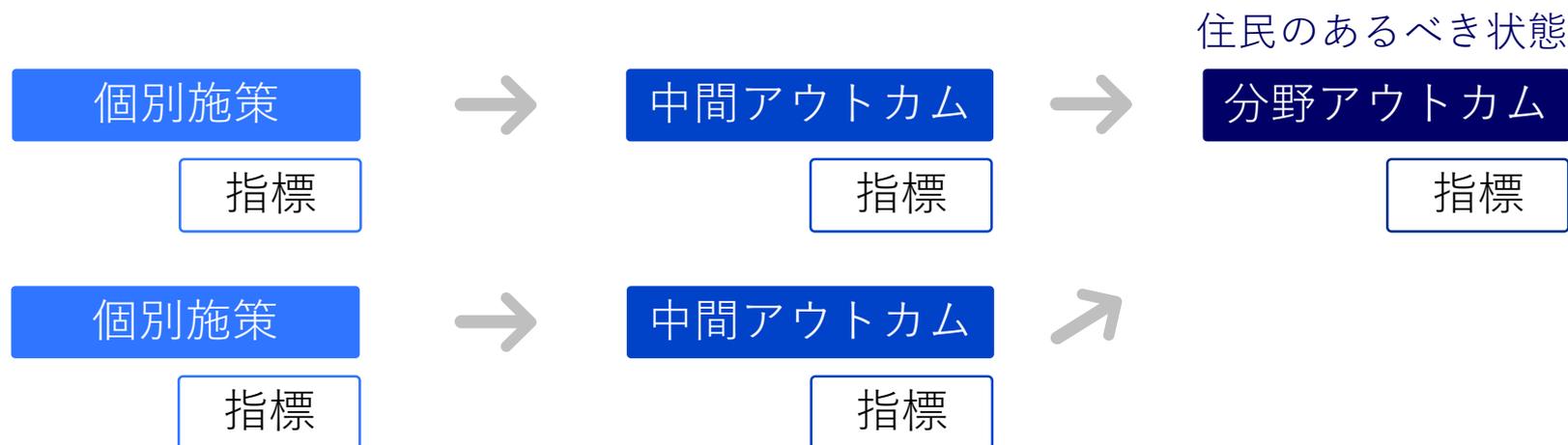
1. 第7次計画における数値目標達成状況について
 2. 第8次計画の数値目標等に向けたロジックモデルの活用について
-



ロジックモデルとは

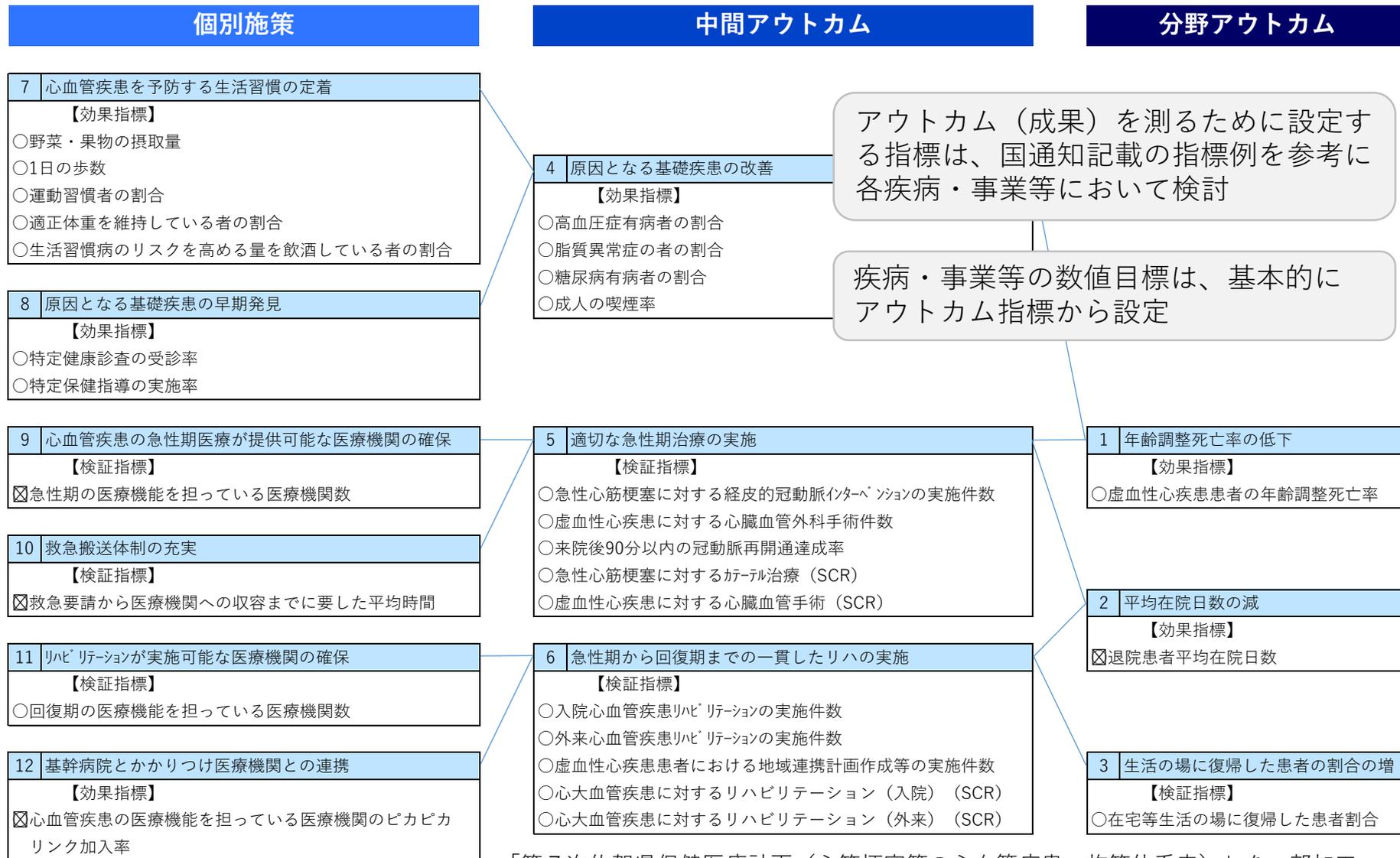
- 施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。「何のために、何をする」を示した図。
- 国の改正後指針において、5疾病・6事業および在宅医療にかかる施策の検討や計画の評価の際、また各々の施策と解決すべき課題との連関を示す際に、各都道府県においてロジックモデル等のツールの活用を検討することとされた。

イメージ図



ロジックモデルの活用例

最終アウトカム（あるべき姿）を達成するために必要な状態・施策を検討



「第7次佐賀県保健医療計画（心筋梗塞等の心血管疾患・施策体系表）」を一部加工

ロジックモデル導入による影響

- 各計画の段階（現状把握、策定、評価、見直し等）にロジックモデルを活用することで、PDCAサイクルの質の担保が期待でき、数値目標と施策の関連性を明確化できる。
- 関係者間で、課題や今後の方向性等の共通認識を持つことができる。
- 作成したロジックモデルの考え方を計画本文に落とし込むことで、論理的な計画の策定に繋がる。
- 一方、各疾病・事業等の中には、標準的なアウトカムの設定が難しい場合や、経年的な指標データの取得が困難な場合もある。（特に新興感染症）

対応案

- 新興感染症を除く各関係部会等において、ロジックモデルの導入に向けて検討。
- 各疾病・事業における「めざす姿」「数値目標」「施策」の関係性について、ロジックモデルの考え方を基に計画を作成。